

栄養大和

NO. 97

2020,7,17

公益社団法人

奈良県栄養士会

奈良県磯城郡田原本町大字三笠22-1

サンライズ三笠Ⅱ201

電話 (0744) 33-2166

FAX (0744) 33-2177

郵便番号 636-0342

ご 挨拶

(公社)奈良県栄養士会会長 松 田 仁



機関誌「栄養大和」の発刊に際し一言ご挨拶申し上げます。

日頃より、公益社団法人奈良県栄養士会の活動にご理解・ご協力賜り誠にありがとうございます。

今年度の総会ですが、例年5月に定時総会を開催しておりましたが、本年は皆様、ご承知のとおり「新型コロナウイルス」の蔓延により非常事態宣言が発せられ、三密を万全にするなど感染予防対策を執りながら皆様のご協力により総会を無事に終えることができました。

さて今年の定時総会におきまして、役員改選があり、この度再度会長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

本会の活動は、公衆衛生、医療、福祉、学校健康教育、研究・教育、地域活動、勤労者支援の職域において、職業倫理と専門性を以て、食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与することを社会的使命とし、多様化する県民のライフスタイルに対応するため、公共目的事業の充実を図ることを基本ととらえて、事業の運営を行っております。

さらに、会員さんと共に県民の健康維持・増進・健康寿命の延伸のために疾病の重症化予防等の事業や今後の課題でもあります訪問栄養食事指導事業の推進に努め、管理栄養士、栄養士の資質向上に関する専門

性の強化、社会的評価や地位向上を図るために邁進したいと思っております。

奈良県においても少子高齢化社会を迎え、県民のより良い人生と健康のために、また様々な課題解決のために、管理栄養士・栄養士の更なる連携及び協力がとても重要と感じております。様々な健康状態の人々に栄養の専門職として寄り添い、栄養・食生活を通して県民の栄養改善、健康の保持増進、生活習慣病の重症化予防等に貢献尽力してまいりたいと考えています。そのためにも、高い資質が求められ専門職業人として、生涯を学習と受けとめ、本会の開催する生涯教育や様々な研修会等へ積極的に参加し、最新の知識を研修し、有効に活用する能力を習得し、個人の健康や地域の活性を支えるために、輪を以って、力を発揮し、共に頑張っていきましょう。

最後に「管理栄養士及び栄養士は、食をとおして、ひとびとと社会の、現在と未来に責任をもつ見地に立って、みずからの役割の重さを深く自覚しなければならない」を胸に、会員の皆様と共に今後の活動を飛躍させていきたいと考えます。

また、今後とも各関係機関、各団体等の皆様方の一層のご支援・ご指導をお願い申し上げます。

奈良県栄養士会 7月～12月の事業・研修会

研修会

- 8月22日（土）介護予防のためのスキルアップ研修会
9月24日（木）高齢者の口腔の機能維持と口腔ケア研修会
10月 上旬 地域ケア会議助言者養成研修会
11月6日（金）食生活と植物油栄養に関する講習会
未 定 福祉施設等に関わる管理栄養士・栄養士研修会
未 定 フレッシュバジル

生涯教育研修会

- 9月19日（土） 第1回生涯教育研修会 13時00分～16時10分
場所：帝塚山大学 学園前キャンパス
講演：看取り期の食支援のあり方
講師：愛知学院大学診療科学部健康科学科
准教授 牧野 日和 氏
- 12月5日（土） 第2回生涯教育研修会 13時00分～16時10分
場所：畿央大学
講演：認知機能による摂食障害
講師：奈良県総合リハビリテーションセンター
理学療法士 松下真一郎 氏
講演：摂食指導の実践
講師：重症心身障害児学園 バルツァ・ゴードル
管理栄養士 八木万希子 氏

理事会

- 8月29日（土） 第3回 理事会 場所：奈良県営福祉パーク 福祉体験館
10月10日（土） 第4回 理事会 場所：未定
12月12日（土） 第5回 理事会 場所：未定

(公社) 奈良県栄養士会 令和2年度 第8回定時総会

日 時 令和2年6月18日(木)
午前10時～午前11時30分

会 員 数 535名

出 席 者 43名

書面表決 382名

委 任 状 28名

合 計 410名

定款第18条の規定により成立いたしました。

議 事

(1) 報告事項

報告第1号

令和元年度事業報告について

報告第2号

令和2年度事業計画について

報告第3号

令和2年度収支予算について

(2) 議案事項

第1号議案

令和元年度収支計算書及び財産目録承認の件

第2号議案

役員(理事23名・監事2名)選任の件

以上の議案について各号とも可決・承認されました。

第8回定時総会を振り返って

奈良県栄養士会 事務局長 大 谷 望

今年度開催しました第8回定時総会は、新型コロナウイルスの影響により、当初開催予定の5月21日(木)には全国に発せられた自粛要請を受け延期せざるを得なくなりました。

その後、自粛要請が解除されたことから、翌6月18日(木)にリガーレ春日野(奈良市法蓮町)に於いて開催となりました。

しかしながら、新型コロナウイルスが消滅したわけでもありません。

参加者には、咳、くしゃみ、発熱、味覚障害・臭覚障害、罹病者には出席を自粛をお願いし、出席者には感染予防対策として、マスクの着用、検温の実施、アルコールによる消毒、配席の空間スペース、換気をするなど、3蜜(換気の悪い“密”閉空間、多数が集まる“密”集場所、間近で会話や発声をする“密”接場面)の解消など万全を期したうえでの開催となりました。

また、毎年、定時総会には来賓の招聘や総会終了後には特別講演の実施、賛助会員による展示会も催しているのですが、やむを得ず取りやめになりました。

さらに、厚生労働大臣表彰や奈良県知事表彰を受賞された方々に対する顕彰のセレモニーも次年度開催に繰り延べになりました。

以上、粛々とした今年度の定時総会は、前例のない非常事態の中での開催となりましたがご協力をいただきました関係者の皆様には感謝申し上げますとともに、無事終了できましたこと大変喜ばしく感じています。

令和元年度 奈良県栄養士会 災害支援スタッフ研修会（応用編）

福祉事業部 JDA-DATリーダー 木 島 隆 栄

日 時：2020年1月25日（土）

場 所：帝塚山大学

受講者：32名

講演1「記録について」

講 師：JDA-DATリーダー

講演2「災害時の行政と医療チームの動きから考
える連携」

講 師：総合内科専門・指導医、日本循環器学
会認定循環器専門医、日本DMAT隊
員、日本災害医学会BHELP（世話人）

守川 義信 氏

2019年度の県栄養士会災害支援スタッフ研修会は年度内複数開催を試みた。他府県では年度内で数回に分けた研修を開催することが多い。理由は1回の研修会では伝えきれない内容であるからだ。今まで奈良県は数年を1クールとした研修会を行ってきたが近年、災害発生が多くスタッフ養成が急務であり、他府県と同様なスキルを持つことが今後の災害発生時に必要と考え開催に至った。今回は、2019年11月の基礎編に引き続き2回目、応用編と題して行った。内容は2部構成。冒頭に記載した内容である。1部は、本来ならば基礎編の内容であるが、2018年度の反省も踏まえ基礎的な記録について伝えていく必要があると判断し内容に組み込んだ。2部では、守川先生から全国共通ツールであるラビットアセスメント、J-SPEEDの紹介や我々栄養士の災害活動に必要な知識、BCPやCSCAHHH、また最新の情報も交えて講演頂いた。

実際の参加者の声として、多くのご意見、ご感想を頂いた。今回、一部であるが紹介したい。

- 避難所や被災者のアセスメント様式が、全国共通で活用出来るようになっている事を知れた。
- 実際の現場での行動、判断、医療の知識などが十分でないことを痛感した。
- 今回のような研修は、本当は基礎として、1番初めに聞きたかった。他にも初めての方がいると思うので、毎回基礎編でこの話をすると決められてもいいのではないかな。
- 基礎を知った上でバッククッキングや昨年のHUGなどをやると、何をどう考えれば良いか分かると思う。昨年は何も分からず、何も考えることもできず終わった。
- 今回、後半もすごく分かり易く、また現場で求められていること、日頃どんなところを知っておくべきかなども知れてまた聞きたい！もっと聞きたい！と思った。
- 災害支援の現状や課題がよく分かった。
- コミュニケーション力を磨きたいと思った。
- 他職種連携の本当の仕事を理解し、BCPやICSをふまえCSCAHHHを実践しラビットアセスメントを忘れず、J-SPEEDを活用して行政が疲弊しないように助かる命を守りFEMAに早く追いつく日本でありたい。
- J-SPEEDの周知研修を他職種でやれる日が来ることを期待する。

受講者の声を通して言えることは受講者の方々何かしら各々刺激されたということ。いつ何が起るかわからない世の中で我々は何をすべきなのか？今、何を備え身につけることが大事なのか？考えさせられた研修であった。受講者の皆様から頂いたご意見・ご感想はとても貴重です。皆様ありがとうございます。この声を大事にし、今後も取り組んでいきたいと考えます。

最後に私が考える災害支援スタッフ研修会、災害支援チームにおける今後の課題を記載いたします。

- ①養成研修会継続実施。 ②内容の精査。
- ③スタッフ達登録数の増加（目標：市町村ごとに3名以上）。 ④リーダーの増加。

- ⑤スタッフ・リーダー登録者が平時活動で動ける場を開拓。
- ⑥他府県との連携体制構築。
- ⑦災害支援スタッフの組織体制のあり方。
- ⑧行政や他団体との連携体制構築と締結。等々。

平時から地域との関りの中での災害時はより必要となり我々の働きは命を繋ぐ大きな働きを担うものであると考える。今後も多くの栄養士・管理栄養士が研修会を受講し、スタッフ登録、そしてリーダーへとなって頂ければと思う。

避難所食事状況調査票

1/2ページ

調査日	西暦 年 月 日 ()	記入者	あなたの所属 ☐ 保健所 ☐ 市町村 ☐ 他自治体 ☐ 栄養士会 ☐ その他
避難所名		避難所区分	☐ 指定 ☐ その他
避難者数	避難者:計()人 在宅避難者等、食事だけ取りに来る人数: ()食		
対応してくれた方	氏名:	お立場	☐ 避難所責任者 ☐ 食事提供責任者 ☐ その他
食事提供回数	☐ 0回 ☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 3回/日	飲料水	☐ なし ☐ 不足(1人1日1.5L以下) ☐ 十分
避難所にいる要配慮者に	☐ 乳児 ☐ 高齢者 ☐ 障害者 ☐ アレルギー ☐ その他	口乳児用ミルク ☐ 離乳食 ☐ おむつ ☐ その他	
人数把握が難しい場合は	☐ 口高血圧 ☐ 口糖尿病 ☐ 口腎臓病 ☐ 口摂食嚥下困難者 ☐ 口妊婦・授乳婦 ☐ その他	口7品目除去食 ☐ 7品目以外の除去食(原因食品:) 口減塩食 ☐ 降圧剤 ☐ その他 口エネルギー調整食 ☐ 内服薬 ☐ インスリン ☐ その他 口低たんぱく食 ☐ 低カロリー食 ☐ 薬 ☐ その他 口とろみ調整食 ☐ 嚥下調整食 ☐ その他	
要配慮者はいない			
使えるライフライン	☐ 電気 ☐ ガス(湯を沸かす) ☐ 車による人や物のアクセス	☐ 上水道 ☐ 下水道 ☐ プールの水	

区分	メニュー	量	食事区分(あったものに)	食事提供方法(該当に)	左の食事への以下の提供・調整の関与(該当に)
朝 ①	☐ 足りている ☐ 足りていない ☐ 提供なし ☐ 不明	☐ 主食(ご飯/パン/麺) ☐ 主菜(肉/魚/卵/大豆) ☐ 副菜(野菜/きのこ/芋/海藻) ☐ 野菜ジュース等含む ☐ 牛乳・乳製品 ☐ 果物	☐ 炊き出し ☐ 弁当 ☐ 支那物(調理不要) ☐ 備蓄品(調理不要) ☐ その他	☐ 自衛隊 ☐ 栄養士 ☐ その他 ☐ いずれも関与せず ☐ 不明	
昼 ②	☐ 足りている ☐ 足りていない ☐ 提供なし ☐ 不明	☐ 主食(ご飯/パン/麺) ☐ 主菜(肉/魚/卵/大豆) ☐ 副菜(野菜/きのこ/芋/海藻) ☐ 野菜ジュース等含む ☐ 牛乳・乳製品 ☐ 果物	☐ 炊き出し ☐ 弁当 ☐ 支那物(調理不要) ☐ 備蓄品(調理不要) ☐ その他	☐ 自衛隊 ☐ 栄養士 ☐ その他 ☐ いずれも関与せず ☐ 不明	
夜 ③	☐ 足りている ☐ 足りていない ☐ 提供なし ☐ 不明	☐ 主食(ご飯/パン/麺) ☐ 主菜(肉/魚/卵/大豆) ☐ 副菜(野菜/きのこ/芋/海藻) ☐ 野菜ジュース等含む ☐ 牛乳・乳製品 ☐ 果物	☐ 炊き出し ☐ 弁当 ☐ 支那物(調理不要) ☐ 備蓄品(調理不要) ☐ その他	☐ 自衛隊 ☐ 栄養士 ☐ その他 ☐ いずれも関与せず ☐ 不明	
間食、菓子類、アルコール等 ④					

よりソリプロジェクト 地域ケア会議助言者養成研修会

公衆衛生事業部

よりソリプロジェクト委員 松田邦子

第3回 スキルアップ研修会

日時:令和2年2月9日(日)13:30~16:40

場所:万葉ホール 研修室2

受講者:25名

演習 事例に基づくロールプレー

「事例を読み取る力をつけるために」

事例提供および助言者

医療事業部 小池 明美 氏

地域活動事業部 隅 淳子 氏

福祉事業部 木島 隆栄 氏

内容

提供いただいた3事例について、実際の会議での助言を想定し、受講者各自が助言内容の検討を行い、3分間の助言にまとめたものを発表。助言者より指導、助言をいただいた。

【事例1】

80歳代男性 妻と二人暮らし

現状:身体機能の低下。筋力低下による長距離歩行困難。

目標:散歩にできる。

栄養に関する現状:主治医より減塩・低たんぱく食の指示あり。妻が食事を作っているが、晩酌のおつまみや夜中の間食がやめられない。

【事例2】

60歳代男性 独居

現状:駅の階段で転倒。下腿骨折後歩行困難。糖尿病内服薬治療中。

目標:日常生活が元の通りできるようになる。
生活・栄養に関する現状:夜型生活(英語教師) 毎日の飲酒あり。食事は出来合いの物を利用。夕食時間が遅く、飲酒してそのまま就寝。「以前栄養指導を受けているので解っている」と食事改善が進まない。居室の清掃が十分できていない。

【事例3】

70歳代女性 長女・長男の3人暮らし

長女は脳に軽度障害あり、癌治療中

長男は長年引きこもり状態

現状：以前に転倒し、リハビリデイの利用により改善傾向にあったが、最近また転倒し片側くるぶしを骨折する。

目標：転倒せず、友人と出かけたい。

生活・栄養に関する現状：食事は本人が実施。

その他の家事は家族が行っている。特に栄養に関する問題は資料からはみられない。

【3事例の演習を通しての全体的な助言】

○3分間の限られた時間内に、助言をまとめる。

○本人を取り巻く状況を、より良いQOLへ繋がるように助言を行う。

○実現可能な提案を 1つ、2つと問題点をしぼって行う。

○具体的なワンポイントの助言を。

○1つの提案がクリアできたら、次は…と一步一步が大切。

○生活リズムを整えることが基本。

○栄養以外にも、提供された情報や計画書の全体を読み取る。

チェック項目の運動不足やうつ予防、家族関係など

○栄養に関する情報の記載が見られない場合、目標を掲げるよりも、QOLを下げている原因（主訴、痛みなど）を和らげる助言を行う。

2019・2020年度受講者を対象に、今後の研修内容・あり方について、助言者への登録等に関するアンケートを行った。

○研修に関する自由意見

・ケア会議のシュミレーションや事例による研修で対象者の自立を促す支援についてのイメージができた。

・事例検討、薬剤師・施設長（ケアマネ）の話は勉強になった。

・実際のケア会議の見学は空気感や時間の流れがよくわかった。

・より良い生活のための寄り添ったワンポイントのアドバイスを学ぶことができた。

提案は現実に可能なこと、他の職種の分野に入り込まないことが重要と思う。

○ケア会議に参画するにあたって

・事例検討を重ねる。地域の社会資源や支援体制等、事前に把握しておくこと。

・薬の知識や情報から問題点を見つけ、アドバイスにつなげるところがむずかしい。

・地域により内容・開催回数などの差がある。地域の事情を踏まえることが必要。

・地域格差（商業地・山間地、交通手段、協力できる人材サービス、社協のサービスなど）があるので、生活者の理解、社会的に幅広い知識と応用力が必要。

・実際のケア会議では、他の専門職から意見を求められることもある。同じ職種だけの検討会では限界があるように感じる。

○栄養士会への意見

・ケア会議に栄養士の参加のない地域もあり、人材育成も必要であるが、行政への働きかけも同時に行っていただきたい。

・この事業に限らず、栄養士の掘り起こし・人材確保・育成が必要。

・参画地域は自宅だけでなく、勤務地でも活動できる。1つの地域に、2人ペアで登録しておくとかバーしやすい。

・地域ケア会議に栄養士が関わり、成果や改善を上げるためにレベルアップしなければならないと考える。若い栄養士の活躍と、この事業への参画に穴を開けずに進むことを願っている。

地域ケア会議助言者登録者数：19名

会議参画者数：9名

参画地域ケア会議数：13地域

(2020年4月現在)

※今年度も引き続き、スキルアップ研修会の開催を予定しています。

内容：困難事例の検討

介護予防事業への栄養士のかかわり方

栄養改善事業評価に関する研修会

公衆衛生事業部 松 田 邦 子

効果的な栄養改善事業の実施にはPDCAサイクルに基づいて行うことが重要である。今回、事業評価方法の検討を行うことにより、正しく評価できる能力を習得するための研修会を実施した。

日時：令和2年2月14日（金）14:00～16:30

場所：奈良女子大学

講師：奈良女子大学生活環境学部

食物栄養学科 教授 高地リベカ 氏

参加者数：12名

内容

学校給食時の「食事バランスランチョンマット」使用効果のアンケートによる評価について、回答の点数化および評価方法を高地先生に指導をいただきながら、参加者で検討を行った。

◎点数化の例

①正しいものを選ぶ設問の場合

正解：1点 不正解または未回答：0点

②4段階の回答を設け習慣・意識を問う場合

例えば朝食喫食について、

毎日食べる：3点

食べる日の方が多い：2点

食べる日の方少ない：1点

ほとんど食べない：0点

③12の食品群を3つの体の働きに分類する場合

正解：1点 不正解：-1点

未回答：0点 ダブルカウント：-1点

④食品群から、ふだん食べているものを選ぶ設問の場合

バランスがとれていることを評価するため、望ましい食品群に重みを付け点数化。

「ご飯・パン等」「野菜料理」「魚・肉・卵・大豆料理」：2点 その他：1点

◎上記点数化による集計の問題点

①点数化の③において、未記入の回答がある者の点数が高くなる場合や、2重で回答（ダブルカウント）した場合マイナス点数が多くなる事があり、正しく評価できない。
⇒機械的に分類しているだけの回答は全く答えていない回答として扱うのか等、何を欠とするのか、様々な回答を想定し事前に決めておくこと。

②点数化の④において、選び方により合計点数でバランスの評価ができにくくなった。
⇒評価者が何をベストとするのかを考え、点数配分の検討または加点をするなど。

③自由記述の設問の点数化が難しい。集計者により内容にずれが生じる。集計時の条件をどのようにあわせたらよいのか。

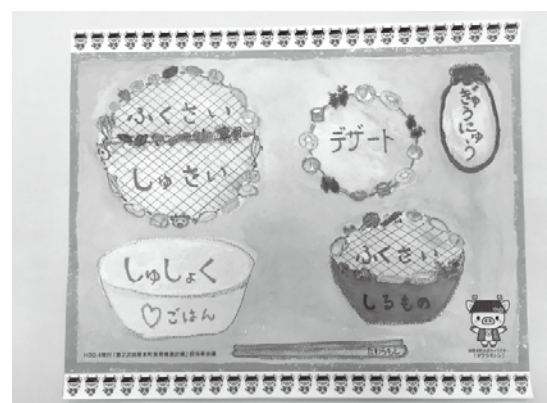
⇒自由記載の予測は難しいので、入力した結果を取り出し、一定の条件をつけて整理する。または、プレテストをし、事前回答の想定を把握したうえで点数化の方法を集計者で決めておく。

④想定外の回答があり、集計時に困った。

⇒時間がなくプレテストをしなかったが、その必要性を痛感させられた。

総合点と個々の設問の点数も併せて評価することもよい。別の視点からも評価することができる。

今後、研修会での検討事項、高地先生のご指導・助言を基に集計の点数化、評価条件を検討し適切な評価を行っていく。



生涯教育研修会報告

令和元年度12月、2月の生涯教育研修会は以下の内容で開催しました。

令和元年12月7日（土） 畿央大学

講演1「食支援における他職種との連携～知っておきたい口腔の知識と実践～」

講師：小向井クリニック 院長 小向井 英記氏
受講者：22名

講演2「在宅・訪問指導～栄養士との関わり方～」

講師：社会医療法人 三宝会 南港病院
管理栄養士 田貝 泉氏

受講者：24名

講演1では、マナボットでの実践も行い、食べるうえで重要となる口腔についてより詳しく学ぶことができました。講演2では、訪問栄養指導について実際の現場の様子を交えて講演いただき、その重要性をより理解できました。

令和2年2月1日 奈良学習センター

講演「食育について～おいしく、たのしく、健康的に！～」

講師：奈良女子大学 生活環境学部
特任教授 早瀬 仁美氏

シンポジウム「食育の取り組み報告」

シンポジスト

近畿大学農学部 富田 圭子氏

地域活動事業部 谷本 百代氏

大宮小学校 山中 淳代氏

斑鳩町保健センター 佃田 尚代氏

田原本町保健センター 桐間 周子氏

受講者：37名

減塩について現状と食行動やうまみに着目した減塩法について講演いただき、学びを深めることができました。その後、各各事業部から食育の取り組みをご報告いただき、フロアの参加者を交えて、積極的に意見交換を行うことができました。

今後も多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。また研修会の内容に関するご要望等ございましたら、ぜひとも各事業部の生涯教育委員にご意見をお寄せください。

新入会員紹介（6月30日現在）

名 前	事 業 部
笠 井 美 希	学校健康教育
福 本 飛 鳥	学校健康教育
村 井 つかさ	学校健康教育
室 田 さ ち	学校健康教育
森 田 美奈子	学校健康教育
浅 井 智 子	研究教育
阿 部 咲 子	研究教育
関 谷 美喜子	研究教育
外 山 健 二	研究教育
青 堅 匡 余	公衆衛生
牧 田 和佳奈	公衆衛生
伊 藤 琴 音	勤労者支援
伊 藤 綾 花	医 療
今 北 瑞 希	医 療
植 島 也寿代	医 療
江 戸 友 里	医 療
米 田 昌 代	医 療
柴 田 祐佳子	医 療
太 期 千 尋	医 療
中 野 裕紀子	医 療
山 下 祥 子	医 療
岩 田 恵美子	福 祉
大 西 弘 佳	福 祉
築 山 千 晴	福 祉
原 田 星	福 祉
森 川 真 有	福 祉
森 口 真 有	福 祉

（新入会員は4月1日～6月30日）の加入者です）

<以上27名>

令和元年度 第4回理事会報告

日 時 令和元年12月14日(土)
PM1:30～3:30
場 所 奈良県総合リハビリテーションセンター

1. 会長挨拶 松田仁会長
2. 議長選出 松田仁会長
3. 定数確認 出席理事 21名
4. 報告事項
 - (1) 代表理事活動報告
 - (2) 近畿地区栄養士会長並びに日本栄養士連盟
近畿地区支部長合同会議報告
 - (3) 研究発表会
 - (4) 第3・4回生涯教育研修会報告
 - (5) 第1・2・3回地域ケア会議助言者養成研修
会(2年目コース)報告
 - (6) 第1・2回地域ケア会議助言者養成研修会
(1年目コース)報告
 - (7) インスタントラーメン研修会報告
 - (8) 女性のための健康栄養セミナー報告
 - (9) 栄養マネジメント研修会報告
 - (10) 食事摂取基準(2020年度)研修会報告
 - (11) 災害支援スタッフ研修会報告
 - (12) 奈良市食育フェスタ報告
 - (13) 大和郡山市すこやか21健康フェスタ報告
 - (14) 橿原市ふれあい・いきいき祭報告
 - (15) 奈良県公衆衛生学会について
 - (16) 栄養大和NO96について

5. 協議事項

- (1) 奈良県栄養士会役員選出規定の一部改正及
び役員候補者選考委員会設置要項
- (2) 第2回災害支援スタッフ研修会
- (3) 地域ケア会議指導者養成研修会
- (4) 第5回生涯教育研修会
- (5) 栄養改善事業の評価に関する研修会
- (6) 令和2年度事業計画案の作成について

6. その他連絡事項

- (1) 各事業部・委員会及び支部等からの報告

令和元年度 第5回理事会報告

日時 令和2年2月22日(土)
PM1:30～3:00
場所 奈良県総合リハビリテーションセンター

1. 会長挨拶 松田仁会長
2. 議長選出 松田仁会長
3. 定数確認 出席理事 19名

4. 報告事項

- (1) 日栄第2回諮問会議報告
- (2) 役員選任管理委員会の開催報告
- (3) 災害支援スタッフ研修会報告
- (4) 地域ケア会議指導者養成研修会報告
- (5) 栄養改善事業の評価に関する研修会
- (6) 第5回生涯教育研修会報告

5. 協議事項

- (1) 令和2年度事業計画(案)
- (2) 令和2年度収支予算(案)
- (3) 資金調達及び設備投資の見込み
- (4) 令和2年度第8回定時総会について
- (5) 議決権行使について
- (6) 日栄代議員の選出について
- (7) 新入会・退会について
- (8) 令和2年度生涯教育研修会

6. その他連絡事項

- (1) 各事業部・委員会及び支部等からの報告

令和2年度 第1回理事会報告

新型コロナウイルスの蔓延により会議・イベント等の自粛要請が全国に発せられたことを受け、理事会の開催は中止し、郵送による書面決議になりました。

＜根拠＞

定款第35条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数を持って行う。

2項 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

一般社団法人及び財団法人に関する法律第96条第1項 理事会の決議の省略

理事会設置一般社団法人は、・・・・・・ 理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす旨を定款で定めることができる。

決議日 令和2年4月18日

決議内容

定時総会承認事項

令和元年度収支計算書及び財産目録承認の件
(定時総会 第1号議案)

役員(理事23名 監事2名)選任の件
(定時総会 第2号議案)

理事会承認事項

令和元年度事業報告
(定時総会 報告第1号)

その他事項(資料)

- (1) 代表理事活動報告について
- (2) 日栄諮問会議について
- (3) 近畿会長会議について
- (4) 令和2年度第8回定時総会プログラムについて
- (5) 定時総会の役割分担について
- (6) 令和2年度生涯教育研修会について
- (7) 令和2年度事業の実施日程について
- (8) 機関誌「栄養大和」No97の発刊について
- (9) 新入会・退会について

令和2年度 第2回理事会報告

日時 令和2年7月4日(土)

PM 1:30~4:30

場所 奈良県営福祉パーク 福祉体験館

1. 会長挨拶 松田仁会長
2. 議長選出 松田仁会長
3. 定数確認 出席理事 22名

4. 報告事項

- (1) 代表理事活動報告
- (2) 令和2年度第1回日本栄養士会 諮問会議報告
- (3) 令和2年度日本栄養士会定時総会報告
- (4) 令和2年度第8回定時総会報告

5. 協議事項

- (1) 理事会役割分担と責務
- (2) 令和2年度事業年間計画
- (ア) 健康づくり提唱のつどい
- (イ) 食生活と植物油栄養に関する講習会
- (ウ) 生涯教育研修会
- (エ) 研究発表会
- (オ) その他各事業部スキルアップ研修会
 - ①災害時栄養・食生活対策の構築
 - ②健康・栄養改善事業の評価方法の検討
 - ③介護予防のためのスキルアップ研修会
 - ④フレッシュバジル
 - ⑤高齢者の口腔の機能維持と口腔ケア
 - ⑥福祉施設等に関わる管理栄養士・栄養士研修会
 - ⑦地域ケア会議助言者養成研修会
- (カ) 近畿地区 行政担当者・栄養士会長合同会議について(開催：奈良県)
- (キ) 栄養大和第97号について

6. その他連絡事項

- (1) 各事業部・委員会及び支部等からの報告

★ 東洋羽毛

水と、空気と、睡眠と。

睡眠セミナー 無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

＊——— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです ———＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

＊

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。

正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。



東洋羽毛関西販売株式会社

〒615-0806 京都府京都市右京区西京極畔勝町8番

～お気軽にお問い合わせください～

京都営業所  0120-104046

昭和精肉店

〒636-0034

奈良県磯城郡田原本町 624

TEL 0744(32)2066

FAX 0744(32)7759

栄養士さんは、 開発者さん。

食事摂取基準
2020

New! に対応しました!



現場経験豊富な栄養士のサポートで
開発された、ダイエットプロ。
20年以上の歴史があります。
さらに、新調理システムにも対応。
現場に合う運用指導が喜ばれています。

栄養・給食管理システム

ダイエットプロ



Diet Pro

Diet Pro(給食管理システム)とのスムーズな連携
帳票類が見やすいと好評!

栄養食事指導システム



Diet Pro-E

栄養ケア・マネジメントシステム



Diet Pro-Care

お問い合わせはこちら
無料デモ・資料送付承ります。

TEL.06-7777-3010

FAX.06-6467-4158

<http://www.dynamics.co.jp/>
E-mail recept@dynamics.co.jp

栄養士 ダイエットプロ

検索

株式会社システムダイナミックス 〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2-22 第26 松屋ビル 9階

SDC

奈良県中央卸売市場

松本水産株式会社

新鮮度と安心価格で奈良県の台所事情をサポートします

〒639-1124 大和郡山市馬司町 6 3 2-2

TEL 0743-56-7417

FAX 0743-56-7419